



本日で1学期が終了します。様々な行事の運営等にご理解、ご協力をいただいた保護者・地域の皆様に、心より感謝申し上げます。9月2日、学校とは違った体験やご家族との触れ合いを通して、また一段と成長した子どもたちから、たくさんのお話を聞かせてもらうことを心待ちにしています。

交通安全子ども自転車三重県大会



6月8日（土）津市芸濃総合文化センターにて、交通安全子ども自転車三重県大会が行われました。例年、四日市南警察署管内にある小学校が持ち回りで参加しており、今年度は内部東小学校の6年生希望者が出場しました。体育館に設置された模擬交差点、模擬踏切などの周回コースを、手信号を使って合図しながら自転車の安全走行技能を競うといった内容です。放課後に残って練習を重ねてきた内部東小チームの努力が実を結び、三重県大会では見事優勝を果たしました。夏季休業中には、全国大会があり、内部東小チームが県代表として参加します。

事故なく楽しい夏休みに

学校では、1学期、1・4年生で交通安全教室を行いました。安全な歩行を行うためには、交差点では、「とまる、まつ、みる」といった安全確認の行動が大切だということを教えていただいたり、自転車に乗車するときには「まっすぐ、カチッと、指1本」の合言葉と共に、正しくヘルメットを被ることなどを教えていただいたりしました。夏休みは、子どもたちも自転車に乗って出かける機会が多くなると思



ます。交通ルールを守って乗車するのはもちろんのこと、大切な命を守るために、自転車に乗車する際にはお子さんにはヘルメットを着用させていただくようお願いします。また、毎年、夏休みには、海・川・池での痛ましい水難事故のニュースが報道されます。大人の見守りがいないところでは、深みにはまって溺れる、天候が急変して取り残されるといった危険が潜んでいます。子どもたちだけで、水辺で遊ばないように言葉がけ・見守りをお願いします。

夏季休業中の連絡について

電話対応について、平常時は7:45～18:00となっていますが、夏季休業中は8:30～17:00となり、時間外は、オートメッセージにて「対応できない」旨のアナウンスが流れます。また、8月10日（土）～18日（日）は休校日となり、学校に教職員が不在となります。学校に連絡が必要な場合は、休校日明けの19日（月）にご連絡ください。働き方改革と結び付けた四日市市全体の取り組みですので、ご理解、ご協力をお願いします。

1 学期、外部講師を招いた学習から

内部東小学校では、「自然と地域を愛し、人間性豊かにたくましく生きる子どもの育成」という学校教育目標実現のために、地域の方々から学ぶ学習を大切にしており、学校だよりにおいてもその様子についてお伝えしてきました。今回は、外部から招いた講師先生に行っていただいた授業について1学期の実践をお伝えします。学校ホームページ「学校・子どもの様子」にも、随時、掲載しています。お時間があれば、内部東小学校ホームページで検索してご覧ください。



四日市市上下水道局生活排水課の方に来ていただき、4年生で下水道出前授業を行いました。しょう油大さじ1杯を流すと、その処理にはお風呂1.5杯分の水が必要になることや、4人家族で1日1000Lほどの生活排水を出していることなどを知って、子どもたちは驚いていました。また、後半には、ティッシュペーパーとトイレットペーパーをコップに入った水の中に溶かして比べてみる実験を行い、下水道の仕組みや大切さについて学びました。

税務署の職員の方に来ていただき、6年生で租税教室を行いました。所得税、自動車税、消費税など、その目的に応じて約50種類ほどの税金があることを学びました。そういったことを学ぶと、「税金は、可能であればない方がいい」と考えてしまうかもしれません。しかし、税金があるからこそ安心して暮らすことができていることを学ぶことで、改めてその大切さに気付く学習となりました。



反差別・人権研究所みえより講師先生に来ていただき、3年生でメディアリテラシー出前授業を行いました。インターネットと間違ったつきあい方をすると、人権が大切にされず、かなしい気持ちになったり人の心を傷つけたりしてしまうことを学びました。子どもたちの間でも、保護者の知らない間に、例えばSNS上などでトラブルに発展してしまうことがあります。正しい使い方ができているかどうか、ご家庭でも一度話し合ってみてください。

スタンドバイ株式会社から講師先生に来ていただき、5年生でいじめ予防授業を行いました。いじめに関する動画を視聴し、悪口を止めるために自分から行動をとることができるか、それとも何もしないか、自分の考えを各自のプリントに書くことから学習が始まりました。そのあと、いじめには、被害者、加害者、傍観者があり、いじめを止めたいと思っている人はたくさんいて、傍観者が「いじめは絶対にダメだ」と思うことが大切だということを知りました。

